



のがき

野垣あきこ

まちづくりカフェ

HP はコチラ



2026年8月19日 No.259

連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ！

被爆から81年

核兵器のない世界と非核三原則の堅持を求める意見書

■『8陳情第11号 核兵器のない平和な世界の実現に向け、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准に向けた環境整備と非核三原則の堅持を求める意見書の提出を求める陳情』を【採択】とすることに対する賛否（賛成31：反対14／可決）

会派人数	自民	共産	公明	立憲	シ杉	維無	無都	安心	参政	革新	自由	杉わ	無	杉ク	f r	国民	杉立
	7	6	6	5	5	4	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
賛否	×	○	○	○	○	○2 ×1 議長1	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○

・【賛否】○/賛成、×/反対、退/退席、欠/欠席。「維無」は1名が議長の為、賛否は3名のみ表明。
・【会派の正式名称】自民/杉並区議会自由民主党、共産/日本共産党杉並区議団、立憲/立憲民主党杉並区議団、公明/杉並区議会公明党、シ杉/シスターフッド杉並、維無/維新・無所属議員団、無都/無所属・都民ファーストの会、安心/安心・安全杉並の会、参政/参政党杉並、革新/都政を革新する会、自由/日本自由党杉並、杉わ/杉並わくわく会議、無/無所属（堀部）、杉ク/区政杉並クラブ、f r/far right、国民/杉並区議会国民民主党、杉立/杉並区議会立憲民主党。（2026(R08)年6月12日現在）

6月12日、杉並区議会にて「核兵器のない平和な世界に向け、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准に向けた環境整備と非核三原則の堅持を求める意見書の提出を求める陳情」が採択されました。

被爆者と区民の長年の運動が杉並区議会を動かす！

陳情への賛否は左の通りで、賛成31、反対14で採択されました。陳情採択に続いて、議員提出議案による同趣旨の意見書も可決され、杉並区議会として日本政府に意見書を提出しました。

意見書は、以下の杉並区議会のホームページからご覧になれます。

今回の採択では、自民党、国民民主党、参政党、維新などの議員は陳情・意見書に反対しました。

4年前の陳情は不採択に

原水爆禁止署名運動発祥の地である杉並では、被爆者や多くの住民が核兵器禁止を求めて活動してきました。



2024年の「杉並区議会が日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書の提出を要請する陳情」は、賛成21、反対26で不採択でしたが、今回ついに採択へと結実しました。

被爆者をはじめ、核兵器のない世界を願う杉並区民のみなさんの、長年にわたる粘り強い運動の成果です。

2017年に核兵器禁止条約が国連で採択されてから9年、発効から5年が経ち、締約・署名国は100カ国となりました。唯一

の戦争被爆国である日本が、核廃絶を目指し条約に参加することが、核廃絶の実現に向けて何よりも重要です。

高市政権で高まる危機感

2025年10月の高市政権発足後、129の地方議会から「持たず、作らず、持ち込ませず」の非核三原則の堅持を求める意見書が可決され、国に提出されています。

唯一の戦争被爆国である日本が、非核三原則の見直しという議論に踏み出すなど、断じて許されません。杉並区議会からもこの意見書が出されたことは重要な成果です。

今年是被爆から81年、日本国憲法施行80年の年です。

高市首相は、平和祈念式典の挨拶で、非核三原則をこれからも堅持すると言わず、終戦記念日には靖国神社に玉串料を奉納し、憲法9条改悪にまで手を付けようとしています。

核兵器と戦争のない世界のために、今こそ平和憲法を守ろうの声を広げていきましょう。



被災地支援に全力を

田村委員長らが熊本地震の緊急募金を県・宇土市に届ける



▲光井正吾市長(左から3人目)に救援募金を手渡す、(右から)松岡勝県委員長、東なつこ県副委員長・県議予定候補、田村智子委員長、福田けい一市議、(左から)田村貴昭前衆院議員、仁比聡平参院議員=7日、熊本・宇土市役所「しんぶん赤旗」より

7日、日本共産党の田村智子委員長と国会議員団らは、熊本県庁と宇土市役所を訪問し、熊本地震救援募金を手渡しました。
被災地へ救援募金を届け、懇談と聞き取りを行う

今回届けた救援募金は1次分で、全国からは約2400万円が集まっています。

杉並区内でも、8月5日まで寄せられた約25万円の救援募金を1次分として中央委員会に送金しました。

宇土(うと)市では、光井正吾市長と懇談し、現状や要望を聞き取りました。仁比聡平参院議員と田村貴昭前衆院議員、党熊本県委員長と副委員長、党市議が同席しました。

光井市長は、家屋被害が1500棟に上り、「ボランティアなどの人手が足りない」と語りました。独居高齢者が多く、在宅で過ごす人や車中泊する人への支援が行き届かないのが課題だと説明。県は断水は解消したと発表したが、完全に復旧せず漏水を確認している地域があると、「ぜひ現状を国や県に伝えてほしい」と述べました。

田村氏は「国と県の支援強化が急務だ」と述べるとともに、避難所の改善などに向け意見交換しました。

熊本県庁では府高隆知事公室長が応対。田村氏は、災害関連死を起こさないための対策は急務だとして、国と県が責任をもち、発災後48時間以内とされている段ボールベッドの設置、食事の改善などの課題を一気に解決することが必要と強調。また、介護施設などの状況把握、子どもや女性への性暴力被害の防止なども求めました。

引き続き救援募金に取り組んでいます

ご協力いただける方は、野垣にお近くの党員までお声かけください。つどいや街頭宣伝でお渡ししただけでも結構です。

中央委員会ではクレジットカードや郵便・銀行振込でも募金を受け付けています。

下の二次元コードからアクセスできますのでよろしく願います。



お預かりした災害救援募金は、政治活動のための資金とは区別し、全額を被災者救援、被災自治体のために活用します。

原田あきら都議事務所

弁護士による法律相談

**毎週 水曜・金曜
14時～16時**

会場 日本共産党杉並地区委員
高円寺南3-30-12
電話 03-3314-5551
(予約不要、先着順に受付)



あきこの部屋

ミュージアム全体を楽しむという感じ。沖縄県知事選を意識して?8月22日、「琉球王国の染織―尚家関連品と護得久家伝来品」が。沖縄にはかつて日本民藝館の分館もあったそうです。

今年のお盆は雨が続き、各地で水害も多発していましたが、みなさんは大丈夫でしたか?
私は、遠出はしませんでした。が、前から行きたいと思っていた日本民藝館に行くことができました。「無名の職人による平凡な下手ものにこそ非凡な美が宿る」というのが創設者の柳宗悦と民藝運動の主張だそうです。
超有名な目玉作品を観に行く!というよりは、親しみのある作品、空間、陳列棚、建物等、